

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 2 部門第 1 区分

【発行日】平成30年12月20日 (2018.12.20)

【公開番号】特開2018-38941(P2018-38941A)

【公開日】平成30年3月15日 (2018.3.15)

【年通号数】公開・登録公報2018-010

【出願番号】特願2016-172963(P2016-172963)

【国際特許分類】

B 0 1 D 46/00 (2006.01)

B 0 1 D 39/20 (2006.01)

F 0 1 N 3/022 (2006.01)

F 0 1 N 3/035 (2006.01)

B 0 1 J 35/04 (2006.01)

B 0 1 D 53/94 (2006.01)

【 F I 】

B 0 1 D 46/00 3 0 2

B 0 1 D 39/20 D

F 0 1 N 3/022 C

F 0 1 N 3/035 A

B 0 1 J 35/04 3 0 1 A

B 0 1 J 35/04 3 0 1 E

B 0 1 D 53/94 2 2 2

B 0 1 D 53/94 2 4 1

B 0 1 D 53/94 2 4 5

B 0 1 D 53/94 2 8 0

【手続補正書】

【提出日】平成30年11月5日 (2018.11.5)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

排ガス中の粒子状物質を捕集するための排ガス浄化フィルタ（１）であって、
複数のセル壁（２）と、複数の該セル壁によって囲まれた複数のセル孔（３）と、を有し、

上記セル孔として、下流側端部が栓部（４）によって閉塞されるとともに上流側が開放された下流栓詰めセル孔（３１）と、上流側端部が栓部によって閉塞されるとともに下流側が開放された上流栓詰めセル孔（３２）と、を有し、

上記下流栓詰めセル孔と上記上流栓詰めセル孔とは、軸方向（Ｚ）に直交する横方向（Ｘ）においても、軸方向及び上記横方向の双方に直交する縦方向（Ｙ）においても、互いに隣り合うよう、交互に並んで形成されており、

１箇所の上記下流栓詰めセル孔の流路断面積を S_1 、１箇所の上記上流栓詰めセル孔の流路断面積を S_2 としたとき、流路断面積 S_1 に対する流路断面積 S_2 の比率である流路断面積比率 $R = S_2 / S_1$ は、 $1.7 \leq R \leq 3.0$ を満たす、排ガス浄化フィルタ。

【請求項 2】

上記流路断面積比率 R は、 $R \leq 2.5$ を更に満たす、請求項 1 に記載の排ガス浄化フィ

ルタ。

【請求項 3】

上記セル壁は、触媒を担持している、請求項 1 又は 2 に記載の排ガス浄化フィルタ。

【請求項 4】

軸方向（Z）における上記上流栓詰めセル孔を閉塞する上記栓部の長さ A と上記流路断面積比率 R とは、 $1.0 < A < (6.0 / R)$ の関係を満たす、請求項 1 ～ 3 のいずれか一項に記載の排ガス浄化フィルタ。

【請求項 5】

上記栓部は、触媒を担持している、請求項 1 ～ 4 のいずれか一項に記載の排ガス浄化フィルタ。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0009】

本発明の一態様は、排ガス中の粒子状物質を捕集するための排ガス浄化フィルタ（1）であって、

複数のセル壁（2）と、複数の該セル壁によって囲まれた複数のセル孔（3）と、を有し、

上記セル孔として、下流側端部が栓部（4）によって閉塞されるとともに上流側が開放された下流栓詰めセル孔（31）と、上流側端部が栓部によって閉塞されるとともに下流側が開放された上流栓詰めセル孔（32）と、を有し、

上記下流栓詰めセル孔と上記上流栓詰めセル孔とは、軸方向（Z）に直交する横方向（X）においても、軸方向及び上記横方向の双方に直交する縦方向（Y）においても、互いに隣り合うよう、交互に並んで形成されており、

1 箇所の上記下流栓詰めセル孔の流路断面積を S_1 、1 箇所の上記上流栓詰めセル孔の流路断面積を S_2 としたとき、流路断面積 S_1 に対する流路断面積 S_2 の比率である流路断面積比率 $R = S_2 / S_1$ は、 $1.7 < R < 3.0$ を満たす、排ガス浄化フィルタにある。